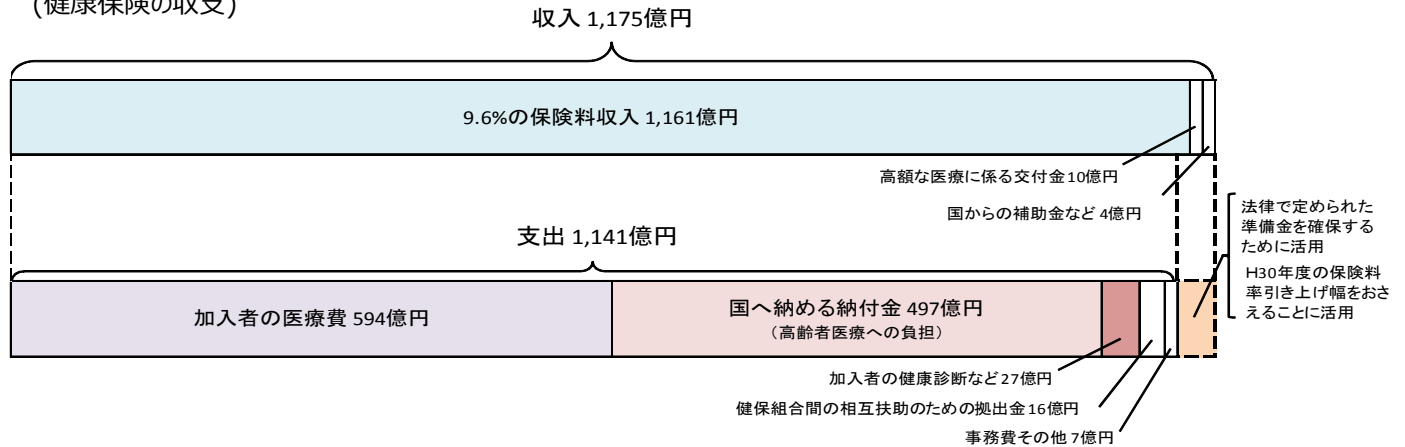


平成 29 年度決算概要報告

人材派遣健康保険組合

7月20日、被保険者の代表や派遣会社の代表で組織された「第61回組合会」が開催され、平成29年度決算及び事業報告が決まりました。

(健康保険の収支)



■健康保険の収支

		平成29年度	平成28年度	増減
基礎数値	保険料率	9.6%	9.24%	+0.36%
	平均被保険者数	423,155人	392,964人	+30,191人
	平均標準報酬月額	235,290円	235,118円	+172円
	1人当たり年間報酬額	2,910,420円	2,908,848円	+1,572円
収入	健康保険料収入	1,161億円	1,039億円	+122億円
	高額な医療に係る交付金	10億円	8億円	2億円
	国からの補助金など	4億円	2億円	2億円
	収入合計(繰入金等を除く)※	1,175億円	1,049億円	+126億円
支出	加入者の医療費	594億円	535億円	+59億円
	国へ納める納付金	497億円	476億円	+21億円
	加入者の健康診断等	27億円	25億円	+2億円
	相互扶助のための拠出金	16億円	15億円	+1億円
	事務費・その他	7億円	7億円	0億円
支出合計	1,141億円	1,058億円	+83億円	
実質収支差		+34億円	-9億円	

※収入合計からは、繰入金・繰越金を除いている。
※端数処理の関係から計数の整合しない箇所あり。

平成29年度は、年間の平均被保険者数が前年度より**30,191人増**の**423,155人**に、平均標準報酬月額は前年度より**172円増**の**235,290円**となりました。

収入は、保険料率引上げや、被保険者数の増加の影響を受け、健康保険料収入が**122億円増加**したこともあり、収入合計では前年度より**126億円増**の**1,175億円**となりました。

一方、支出は、保険給付費が**59億円増加**し、高齢者の医療制度のために国へ納める納付金が**21億円増加**したこともあり、支出合計では前年度より**83億円増**の**1,141億円**となりました。(国へ納める納付金について、被保険者数が増えた分は、2年後に追徴される仕組みになっています。)

収入合計から支出合計を差し引いた実質収支差は、**34億円の黒字**となりましたが、法律で定められた準備金を確保すること、またH30年度の保険料率引き上げ幅をおさえることに活用しています。

■介護保険の収支

		平成29年度	平成28年度	増減
基礎数値	保険料率	2.08%	2.28%	-0.2%
	40歳～64歳の加入者数	210,624人	188,623人	+22,001人
	(うち保険料納付対象者)	199,831人	178,292人	+21,539人
	平均標準報酬月額	244,138円	244,983円	-845円
	1人当たり年間報酬額	3,010,925円	3,025,488円	-14,563円
収入	介護保険収入	125億円	123億円	+2億円
	繰入金・その他	2億円	1億円	+1億円
	収入合計	127億円	124億円	+3億円
支出	介護納付金	125億円	120億円	+5億円
	支出合計	125億円	120億円	+5億円
収支差		+2億円	+4億円	

介護保険収入は、40歳以上の被保険者が**22,001人増加**したこともあり、前年度より**2億円増**の**125億円**になり、収入合計では**127億円**となりました。

介護納付金は、40歳以上の加入者の増加が続いており、前年度より**5億円増**の**125億円**となりました。

収入合計から支出合計を差し引いた実質収支差は、**2億円の黒字**となりましたが、健康保険と同様に、法律で定められた準備金を確保すること、またH30年度の保険料率引き上げ幅をおさえることに活用しています。